

# 平成 30 年度の教育活動に対する学校評価

自己評価 平成 31 年 3 月 15 日

学校法人博学園 須津幼稚園長

後藤正章

- 1 幼稚園の教育目標 『げんきな子 がんばる子』
- 2 本年度の重点目標 「のびのび活動する」
- 3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

学校法人博学園 須津幼稚園 学校関係者評価委員長

高田浩之 

平成 30 年 3 月 27 日

(※評価点は、A(十分に成果があった)・B(成果があった)・C(少し成果があった)・D(成果がなかった)の数値で示すこと。)

| 評価対象   | 評価項目   | 自己評価 |  | 学校関係者評価委員会 |   |
|--------|--|------|--|------------|---|
|        |  | 評価点  | 幼稚園としての反省と改善   | 評価点        | 意見  |
| 保育計画   | 幼保連携型認定こども園として0歳児から就学前までの乳幼児の成長を見通した計画がなされていたか | B    | 子ども達のがのびのびと活動する保育計画がなされた。食育では、おいしい給食を毎日食べ、偏食の改善に一翼を担った。年少以上児が道路を歩く(散歩)機会が少ないようだ。来年度は意識的に計画に加えていきたい。  | B          | 歩くことは大切です。交通ルールを身に付け、身を守る意味でも散歩の機会を増やしてほしい。         |
| 指導の在り方 | 一人ひとりにあった保育や教育がなされたか                           | B    | ケース・バイ・ケースで指導法を変え、乳幼児一人一人にあった保育や教育がなされるよう気を配った。引き続き園児を理解する力を付けていきたい  | B          | 子ども一人ひとりを理解するには難しいことだと思うが、保育者一人ひとりがプロ意識を持って研鑽してほしい。 |
|        | 集団生活の中でお互いに刺激を受け合いながら社会性を培う指導がなされていたか          | A    | 今年度も園生活や様々な活動のなかで、お互いに励まし合ったり、共感したり、競争したりしながら、心や身体が成長していく姿を見ることができた。そのような姿を教職員で共有することが教師の質向上にもつながると考える。                                    | A          | 集団の中での育ちが見られたことはよかったです。                             |
| 研修     | 教師の資質向上の為に園内研修を企画したり、園外の研修会に参加する機会を確保していたか     | A    | 園外の研修に参加して、その結果を報告し合った。不審者への対応について防犯協会の講義指導を受けた。怪我が多い月があったので、怪我の原因などを究明し、来年度に生かすよう教職員全員で話し合いがなされた。   | A          | 研修に参加できる体制を今年度も整えていたいですね。園内研修の充実も図られてきたようですね。       |
| 子育て支援  | 子育て支援の為に未就園児親子への親子教室を2階ホールにて開催した。              | A    | 園庭解放と前年度に続き親子教室4回を開催した。園庭や中庭、ホールで親子の楽しそうな姿が見られた。在園児・未就園児の保護者からの子育て相談は随時受け付けた。保護者からの要望があったり、園が必要と判断した場合には、専門機関に相談し、親・園・専門機関との連携を取る体制を整えている。 | A          | 親子教室は毎回好評のようでした。子育ての楽しさを伝えてほしい。                     |